

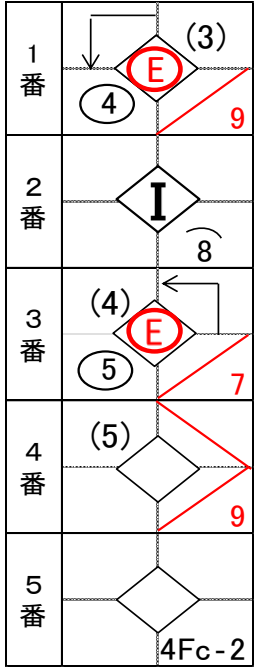
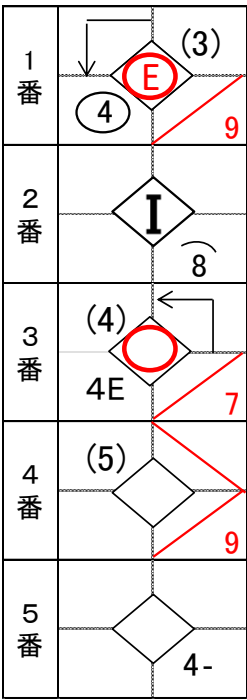
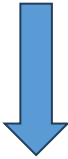
【公式記録事例①】

公式記録確認シート

第95回都市対抗野球大会 2025. 8 . 29 大会 3日目 第 3 試合 【 (東京都 代表) JR東日本 vs 東芝 (川崎市 代表) 】

- 本試合記録担当（公式記録またはアドバイザーとして）、記録規則適用で迷ったり、適用する規則確認が遅れたプレーなど
- 本試合記録担当（公式記録またはアドバイザーとして）、公式記録員判断で決定する事項で迷ったり、判断が遅れたりしたプレーなど
- 本試合記録担当（公式記録またはアドバイザーとして）、その他 記録記載方法や記号・環境等気になることがあれば記載してください。

■ 確認シート記載者：アドバイザー担当 元田本部委員

プレー状況等	公式記録員判定、判断	スコアシート記載	疑問事項、確認事項・項目など。記録員としての意見や対処方法等
<p>■ チーム（先攻） 東芝</p> <p>■ チーム（後攻） JR東日本</p> <p><u>1回表東芝の攻撃</u> 先ずは4番打者の二塁打で1番打者が得点し1点を先制し、なおも1死走者二、三塁の場面で5番打者がセカンドゴロを放つも二塁手が捕球時にファンブルし、その後三塁走者を本塁でアウトにしようとする間に合わずセーフとなり更に1点追加となった。</p>	<p>左記プレイの状況から試合を担当した公式記録員（北信越地区連盟派遣）と毎日新聞記者（記録担当）二人の判断から5番打者の記録は野選（Fc）と判定された。</p> <p>野選と判定されたことによりこの時点では打者には打点、投手には自責点が記録された</p> <p>【記録判定時のスコアシート】</p> 	<p>【記録訂正後のスコアシート】</p> 	<p>左記プレイの公式記録員及び毎日新聞記者の判定に対し、1回表のインニング終了後にアドバイザー担当の元田が、5番打者が放ったセカンドゴロを捕球した二塁手がファンブルせずに捕球後、そのまま本塁に送球していれば三塁走者をアウトに出来たプレイなので三塁走者の本塁の得点にセカンドエラーを記録し、5番打者の打点を取消すと同時に、投手の自責点を非自責点に変更するよう訂正のアドバイスを行った。</p> <p>（訂正見解を説明後、毎日新聞記者から記録訂正のアナウンスが行われた）</p> <div style="text-align: center;">  </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: 80%;"> <p>今回のケースは、野手が普通に捕球後、送球ミス等無く、本塁に送球したが、結果的に三塁走者をアウトに出来なかったプレイであれば、野選（Fc）の判断が良いが、捕球時にファンブルというミスが起因してのプレイなので失策を記録するのが妥当であるとの判断です。</p> </div> <p>※公式記録を担当した北信越地区連盟派遣記録員には上記判定に対する見解を説明。</p>